

単元を貫く問い アメリカにいる Alessandro の家族にいつか四万十市に来てもらうためには？～Online で四万十市の魅力を伝えよう！～

この単元に関連した領域の付いている力(◆)と内容(・)

【第6学年】

- ◆動作を表す語を身に付け、身の回りの人を紹介する力。
- ◆そこにあるものや、いつ行うのか表す表現を身に付け、日本の文化や行事、自分の町を紹介する力。

【第1学年】

- ◆自分のことをALTに知ってもらうために、自己紹介をする力。
- ・Program2 アメリカからの転校生 Program3 ウッド先生がやってきた
- ◆自分の好きな人物や尊敬する人物を紹介する力。

本単元の目標

(学習指導要領) 話すこと[発表]

イ 日常な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。

(CAN-DO リスト) 話すこと[発表]

日常な話題や身近な話題について、自分の考えや気持ち、身の回りの出来事などを整理し、その話題に関して7文程度のまとまりのある英文で話すことができる。

学びに向かう力、人間性等

外国の人に四万十市に行ってみたくて思ってもらえるように、四万十市の魅力について、聞き手のニーズに応じて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話そうとする。

単元終了時の目指す生徒の姿

- ・四万十市の魅力について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある内容で話すことができる。
- ・事実や自分の考えなどを伝えるために、適切な語句や表現を用いて話すことができる。
- ・他教科の学びを活かしたり、写真や動画を用いたりしながら、相手のニーズに応じて、よりよい紹介になるように工夫して話そうとしている。

思考力・判断力・表現力等

外国の人に四万十市に行ってみたくて思ってもらえるように、四万十市の魅力について、聞き手のニーズに応じて伝える内容を選び、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話す。

知識及び技能

現在進行形を用いた文の構造を理解するとともに、四万十市の魅力について事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、既習事項や現在進行形などの簡単な語句や文を用いて伝える技能を身に付ける。

この単元からつながっている領域の力(◆)と内容(・)

- 【第2学年】
- ◆京都で四万十市の旅行プランを提案する力。
 - ・Program2 A Trip to Finland
- 【第3学年】
- ◆自分のお気に入りのものをALTに紹介する力。
 - ・Program1 A History of Vegetables
 - ・Program2 Volcanoes in Japan
 - ◆日本独自のものや文化をALTに知ってもらうためにスピーチする力。
 - ・Program5 Sushi-Go-Around in the World
 - ・Program6 Let's talk about Japanese Things.

生徒の実態と指導観

本学級の生徒は明るく活発な生徒が多く、授業においてもペア活動に意欲的に取り組んだり、伝えたいことを何とかして伝えようとする姿勢が見られる。1・2学期に行ったパフォーマンステストではA・B評定の生徒が100%だった一方で、自分の伝えたいことを一方的に伝えるだけで終わっていた。そのため、今まで学習した内容を暗記して伝えようとしたり、相手の理解の状況に応じて発話内容を変えたり、話の流れを変えたりすることに課題がみられる生徒も多かった。

本単元の単元ゴールは、言語活動を通して、相手意識を持って、まとまりのある内容を話す力[発表]を身に付けることである。単元を通して、相手意識を持ち、相手のニーズに応じてながら四万十市の魅力について伝える活動を行う。1時間ごとに相手を変え、ALTに実際に生徒が発話した内容を家族に伝えてもらう。そこで得たフィードバックを次の時間の導入で知り、次の発表に生かすというサイクルを繰り返すことにより、生徒の発話内容を少しずつ高めていきたい。また、マッピングなどで事実や自分の考えなどを整理することで、まとまりのある内容を伝えられるようにしたい。このような活動を仕組むことで、今まで学習した内容を暗記するのではなく、相手の状況に応じて臨機応変に対応できる力を身に付けていきたい。

言語活動

話すこと[発表] 相手のニーズに応じて、四万十市の魅力を整理し、写真や動画を用いながら、事実や情報を聞き手に伝える。

話すこと[発表] 相手のニーズに応じて、四万十市の魅力を整理し、写真や動画を用いながら、事実や情報に加え、自分の考えや気持ちを入れて伝える。

パフォーマンステストで期待する生徒の発話例
Shimanto City is a good city. I have two good points. You like outdoor activities, right? First, I recommend Ultra Marathon. We have Ultra Marathon in Shimanto City. Look at this picture. This is a picture of Ultra Marathon. They are running 60 kilometers or 100 kilometers. It's exciting. Second, do you like fish? Ayu is good. Ayu lives in the beautiful river. The Shimanto river is very beautiful. You can eat delicious Ayu. Please come to Shimanto City.

☆パフォーマンステスト
・ALTの家族(4人中1人)にOnlineで四万十市の魅力を伝える。

【第7時】

- ・今までのフィードバックを再確認し、発表の際に注意するポイントを確認する。
- ・ALTの姉の詳しい情報を確認し、四万十市のどんな情報を伝えれば良いか整理する。
- ・整理した情報をもとに、四万十市の魅力を紹介する。
- ・表現したことをALTに聞いてもらい、分かりにくい表現を全体で共有する。
- ・全体で共有したことを生かして、もう一度紹介する。・表現したことをノートに書く。

【第6時】

- ・ALTの母からのフィードバックを聞き、自分の気持ちや考えを入れると良いことを確認する。
- ・ALTの弟の詳しい情報を確認し、四万十市のどんな情報を伝えれば良いか整理する。
- ・整理した情報をもとに、四万十市の魅力を紹介する。
- ・ALTからのアドバイスをもらい、自分たちの表現に生かす。
- ・全体で共有したことを生かして、もう一度紹介する。・表現したことをノートに書く。

【第5時】

- ・ALTの父からのフィードバックを聞き、ALTの母の情報を確認し、四万十市のどんな情報を伝えれば良いか整理する。
- ・相手のニーズを考え、写真または動画を用いながら、四万十市の魅力を紹介する。
- ・全体で表現を共有し、どんなことを伝えれば来たいと思ってもらえるかを考え、再び整理する。
- ・全体で共有したことを生かして、もう一度紹介する。・表現したことをノートに書く。

【第4時】

- ・前時の学習を振り返り、ALTの父のニーズに応じられるよう、情報を整理する。
- ・写真または動画を用いながら、四万十市の魅力を紹介する。
- ・全体で表現を共有し、自分の表現に取り入れられそうな表現を考え、再び情報を整理する。
- ・全体で共有したことを生かして、もう一度表現する。
- ・表現したことをノートに書く。

【第3時】

- ・ALTの父からのフィードバックを聞き、ALTから伝えてもらう。
- ・どんな情報を、どんな方法で紹介すれば良いか考える。
- ・ALTの自分の国紹介を聞き、良かった点を話し合う。
- ・教科書を用いて、状況を説明する表現を知る。
- ・数枚の写真や動画を用いて、四万十市の魅力を紹介する。

【第2時】

- ・ALTの父の詳しい情報を確認し、四万十市のどんな情報を伝えれば良いか整理する。
- ・相手のニーズを考えながら、四万十市の魅力を紹介する。
- ・全体で表現を共有し、自分の表現に取り入れられそうな表現を考え、再び整理する。
- ・全体で共有したことを生かして、もう一度紹介する。・表現したことをノートに書く。

【第1時】

- ・ALTとのやり取りの中で、ALTの家族がいつか日本に来たいと思っていることを知る。
- ・総合的な学習の時間で学習したことを振り返りながら、四万十市に来てもらうために、どんなことを教えてあげれば良いか話す。
- ・今まで学習したことを生かして、四万十市のことを紹介する。
- ・ALTからアドバイスをもらい、四万十市の魅力を伝え、来てもらうためには、相手のことを知らなければいけないことを知る。
- ・ALTの家族について質問し、情報を集める。

【第3時】ALTの父からのフィードバック
「ただ話すだけでは伝わらない。」「いつ?どこ?などの情報があるといい。」
(期待される表現の向上)
写真の状況を説明する表現・いつ、どこなどのより詳しい情報
・This is a picture of ~. ・They are running. ・You can canoe in summer.

単元導入時の生徒の発話例
We have the Shimanto River. It is beautiful. You can swim. Please come to Shimanto City.

評価規準

働かせる見方・考え方を働かせる生徒の姿

第1～3時

【知】現在進行形を用いた文の構造を理解している。

【技】四万十市の魅力について事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、既習事項や現在進行形などの簡単な語句や文を用いて伝える技能を身に付けている。

【形成的評価】

どんな語句や表現を使えば、場面を描写したり相手に分かりやすく伝わるかを考え、話している姿。四万十市の魅力を伝えるため、伝えたい内容に応じた既習事項を想起し、話している姿。

第4～7時

【思】外国の人に四万十市に行ってみたくて思ってもらえるように、四万十市の魅力について、聞き手のニーズに応じて伝える内容を選び、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話している。

【主】外国の人に四万十市に行ってみたくて思ってもらえるように、四万十市の魅力について、聞き手のニーズに応じて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話そうとしている。

【形成的評価】

相手のニーズに応じて四万十市の魅力を伝えるのに必要な情報を整理し、伝えたい内容を適切に話している姿。他者の表現やフィードバックを参考に、相手のニーズを考慮しながら、四万十市の魅力を話そうとしている姿。

第8時

【思】外国の人に四万十市に行ってみたくて思ってもらえるように、聞き手のニーズに応じて伝える内容を選び、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話している。

【主】外国の人に四万十市に行ってみたくて思ってもらえるように、四万十市の魅力について、聞き手のニーズに応じて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話そうとしている。

【知・技】四万十市の魅力について事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、既習事項や現在進行形などの簡単な語句や文を用いて伝える技能を身に付けている。

【総括的評価(パフォーマンステスト)】

相手のニーズに合わせて、どんな内容を伝えれば良いかを考え、話している姿。今までに得たフィードバックを生かし、四万十市の魅力を伝えるために、文の構成や表現を工夫して話そうとしている姿。

【本時の目標】 前時のフィードバックを生かし自分の考えや気持ちを入れながら、相手の情報に応じて伝える内容を整理し、四万十市の魅力についてまとまりのある内容で伝えることができる。(本時 6/8)
 【本時の外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方】 相手のニーズに応じて、どうすれば来たいと思ってもらえるような内容になるか考えながら、四万十市の魅力や自分の考え、気持ちなどを伝える。

<p>問題 アメリカにいる Alessandro の家族にいつか四万十市に来てもらうためには? ～Online で四万十市の魅力を伝えよう～</p>	<p>Level 2</p> <p>おすすめ I recommend () because ~. 好みを確認 Do you like ()?→おすすめ ○→I recommend () . ×→トピックを変える。 相手に確認する。 You like (), right?→紹介</p>	<p>まとめ</p> <p>来たくなるような紹介にするには、自分が好きなことや理由を伝える。また、相手に好きかどうか確認しながら話すが良い。おすすめするときは、「I recommend ~, I like ~.」 確認するときは、「Do you like ~?」「You like ~, right?」</p>	<p>◎深い学びの実現に向けた「問題」と「めあて」の工夫</p> <p>1年生は総合的な学習の時間に、観光や歴史、イベントなどのグループに分かれて、自分たちが住んでいる四万十市について学習をしている。そこで本単元では、既習事項を使って、ALT の家族に四万十市の魅力を伝える活動を単元ゴールとして設定している。また、紹介した内容は実際に ALT の家族に伝え、フィードバックをもらうようにする。本時でも、前時の紹介で得たフィードバックを授業の導入で与え、そのフィードバックをもとに紹介内容を高めていきたい。</p>
<p>めあて 弟さんが来たくなるような紹介の仕方は?</p>	<p>Level 1</p> <p>We have Ultra Marathon in Shimanto City. 写真を使う This is a picture of (). They are running very hard. 自分が好きなこととその理由 I like Ayu because ().</p>	<p>振り返り</p> <p>・前の時間で表現したことと比べて、さらにできるようになったことは? ・次の時間にお姉さんに伝えたいことは?</p>	<p>◎教科の見方・考え方を働かせて課題解決させる手立て</p> <p>本単元では、相手のニーズに合わせて、どうすれば来たいと思ってもらえるかを生徒一人一人に考えさせながら表現させる。また、前時の家族からのフィードバックや ALT からのアドバイスを生かし、さらに工夫改善できるポイントを確認し、紹介する内容や表現の質を高めていきたい。本時では、相手のニーズに合わせることに加え、自分の思いや考えを付け加えながら、魅力やおすすめを伝えさせたい。</p>
<p>Point ☆文の順番を工夫する。 First, Second,</p> <p>Point ☆来てもらうために ○自分が好きなこととその理由 +相手に確認する。</p> <p>Alessandro の弟の情報</p>	<p>問題・めあての共有 → 思考を深めさせる活動 (個人→ペア→全体) → まとめ・振り返り</p>		

○Introduction
 ①前時の紹介文に対する ALT の母からのフィードバックを知り、ALT の母への紹介に再度挑戦する。
 T: Yesterday, you told about Shimanto City to his mother.
 What was the point?
 S: わかりやすいように文の順番を工夫する。
 つなぎ言葉を使う。
 T: What are the good expressions?
 S: First, Second
 T: Yesterday, Alessandro sent your writings to his mother.
 She gave us a movie. Let's watch it. (ムービーを見る。)
 A: What does she want to know?
 S: 自分たちの好きなもの。
 A: What do you like in Shimanto City?
 S: I like the Ichijo festival.
 A: Why do you like it?
 S: Because it is fun.
 A: Then, please tell them to my mother.
 OK. Now let's try to tell about Shimanto City to my mother again.
 ②本時のめあてを確認する。
 T: Today, you are going to tell about Shimanto City to his brother.
 So today' goal is ...
 めあて: 弟さんが来たくなるような紹介の仕方は?
 How will you tell? What's today's point?
 S: 自分の好きなものと理由を付ける。
 T: This is today's point. It's very important. Why?
 S: 来てもらうために。
 T: Now, let's review his information.
 ③ALT の弟の情報を振り返る。
 A: What does he like?
 S: He likes outdoor activities.
 A: What does he want to know?
 S: He wants to know delicious food.
 T: Now, you know many information about his brother.
 What is good for him? Please think carefully.

○1st Try
 ①伝える内容を整理する。
 T: Let's make mapping on your notebooks.
 ②整理した内容をペアで伝え合う。
 ③伝え合った内容を全体で共有する。※中間指導
 ・Unclear Words を確認する。
 T: Do you have any unclear words?
 ・数名が発表し、ポイントを共有する。
 T: S1, please tell us.
 S1: Shimanto City is a very good city. We have Ultra Marathon.
 This is a picture of Ultra Marathon.
 They are running. You can enjoy beautiful nature.
 Please come to Shimanto City.
 T: Why did you talk about Ultra Marathon?
 S1: Simone likes outdoor activities.
 T: I see. He likes outdoor activities.
 T: How about this point?
 S2, please tell us.
 S2: We have the Shimanto river.
 I have two good points. First, Canoeing is good.
 You can enjoy canoeing in the Shimanto River.
 This is a picture of canoeing.
 They are canoeing.
 Please come to Shimanto City.
 Second, I like the fireworks festival because it is beautiful.
 It's very beautiful.
 You can enjoy Shimanto City.
 T: How did he tell about this point?
 S: I like ~. Because ~.
 T: You can use "I like () because ()." when you tell about this point.
 You can say I like(). It's easy.
 To level up, what can you use?
 S: I recommend ().

④ALT にアドバイスをもらう。
 T: Do you have any advice?
 A: If you tell your recommendation, you should ask questions.
 For example, you recommend Ayu.
 What question can we ask?
 S: Do you like ~?
 A: Good. If he answered "No.", what should we do?
 S: トピックを変える。
 T: Then you can use "I recommend ~."
 Also, you have to ask questions.
 ○2nd Try
 ①伝える内容を再び整理する。
 ②整理した内容をペアで伝え合う。
 (ALT にも何人か聞いてもらう。)
 ③伝え合った内容を全体で共有する。※中間指導
 T: S1, please tell us.
 S1: Shimanto City is a good city.
 I have two good points.
 You like sports, right?
 First, we have Ultra Marathon in Shimanto City.
 It's exciting.
 Look at this picture. This is a picture of Ultra Marathon.
 They are running. You can enjoy beautiful nature.
 Do you like fish? Oh, good. Second, I recommend Ayu.
 You can eat delicious Ayu. Please come to Shimanto City.
 T: What is the good point of his speech?
 S: 確認していた。
 T: How?
 S: You like sports, right? Do you like fish?
 T: Why is it good?
 S: 相手のニーズに合わせる。

○Conclusion
 T: Today, we tried two points. What are they?
 S: 好きなものとその理由。
 T: How?
 S: I like () because ().
 T: Also, you asked some questions. What questions?
 S: Do you like ~? You like ~, right?
 T: Why are these points important?
 S: 相手のニーズに合わせる。いつか来てもらうため。
 T: That's right. These are very important points.
 まとめ
 来たくなるような紹介にするには、自分が好きなことや理由を伝える。また、相手に好きかどうか確認しながら話すが良い。
 おすすめするときは、「I recommend ~, I like ~.」など確認するときは、「Do you like ~?」「You like ~, right?」
 ・紹介した英文をノートに書く。
 T: Please write down your speech.
 ○Reflection
 ・前時との発表の違いを個人で振り返る。
 ・次時で ALT の姉に伝えたい内容について考える。

<指導上の留意点>
 ・前時の紹介文へのフィードバックから、本時ではどんな情報を付け加えれば良いか考えさせ、確認する。
 ・相手のニーズに応じて、伝える内容や表現を変える必要があることを確認する。

<指導上の留意点>
 ・四万十市の好きなことを工夫して伝えられている生徒に発表してもらい、表現を共有する。
 ・支援が必要な生徒の言いたかったことを取り上げ、全体で考える。
 ・Unclear Words の確認だけでなく、相手のニーズに合っているのか、自分の好きなこととその理由について話せているかについて評価を入れる。
 ・生徒から表現が出てこない場合は ALT にモデルを示してもらう。
 【思】 外国の人に行ってみたいと思ってもらえるように、四万十市の魅力について、聞き手のニーズに応じて伝える内容を選び、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話している
 【主】 外国の人に行ってみたいと思ってもらえるように、四万十市の魅力について、聞き手のニーズに応じて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話そうとしている。

<指導上の留意点>
 ・なぜその表現を使ったのか、具体的に振り返らせる。

評価規準

※ 「主体的・対話的で深い学び」を実現するための実践研究事業においては、学習指導要領(平成29年3月告示)に基づいた授業づくりを行っているため、育成すべき資質・能力の3本柱による目標及び評価を設定しています。